

# SSLMAX

Matrix Authentication eXtended

## クラウド型ワンタイムパスワード認証システム



WatchGuard SSL 100/560

大幅な電力不足が予想される今年の夏に向けて、遠くの場所からでも社内システムにアクセスできるリモートアクセス・ソリューションは、業種や企業規模を問わず、重要性が高まっています。

SSL MAXは、WatchGuardのSSLリモートアクセス・アプライアンスSSL 100/560に、ワンタイムパスワード認証をパッケージし、いつでも・どこでも・今すぐ導入できるクラウド型システム。中小企業に対し、よりセキュアなリモートアクセスをサービスとしてご提供いたします。

### クラウドで認証

1	7	0	9	8	0	2	8	7	2	5	9	8	5	4	4
5	9	2	2	8	6	1	4	9	7	5	2	7	2	0	8
1	9	1	8	8	9	0	3	1	9	5	2	2	4	0	5
0	8	0	9	9	1	5	5	9	9	1	9	2	2	3	1

### マトリクス認証

人が頭の中に思い描くイメージからワンタイムパスワードを生成。

Eメール

CRM、発注、在庫システム

Webおよびアプリケーション

ファイルサーバ

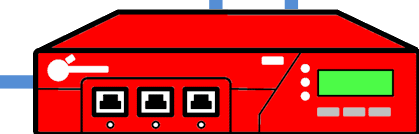
iPhone/iPadにも対応!



出先からアクセス



在宅で仕事



WatchGuard SSL 100/560

## SSL MAXの特長

### 低コスト

SSL MAXは、月額ライセンスのレンタルサービス。ユーザの初期投資は不要です。低価格でセキュアなリモート・アクセス環境の構築が可能です。

### 簡単導入

簡単に導入・アクティベーションが可能。プラグ・アンド・プレイ導入で他ソフトウェアは不要です。

### 柔軟運用

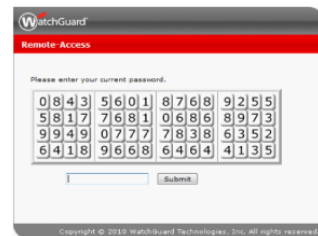
優れた操作性で直感的に運用可能。自動ローディングのクライアントで柔軟にネットワークへの基本アクセスが可能です。

### 高いセキュリティ

ワンタイムパスワード認証を同梱し、強固な認証を実現します。統合されたストロング認証、エンドポイント・インテグリティ・チェックなどの先進的なセキュリティ機能も提供します。また、ウェブベースのリソースおよびSSH、RDPなどの非ネイティブアプリケーションによって、より高度なアクセスも可能です。

### マトリクス認証

トークンなどの認証デバイスは不要。人が頭の中に思い描くイメージからワンタイムパスワードを生成。セキュリティおよび利便性の向上、コスト削減の全てを同時に実現します。



## WatchGuard SSL 100/560仕様

推奨ユーザ数

最大同時セッション数

標準ユーザ数

SSL100

1~500

100

25 (50または100へアップグレード可能)

SSL560

1~2500

500

250 (500へアップグレード可能)

<http://www.ssl-max.com>

## SSL MAXの特色

- ・オールインワン・アプライアンスでプラグ・アンド・プレイに対応。追加ソフトウェア・コンポーネントの導入・管理は不要。
- ・ユーザは一度ログインするだけで、ポータル上の全てのリソースにアクセス可能。再認証を繰り返す無駄な時間を削減。
- ・システム管理者は、アプライアンスを素早く立ち上げ、稼動することが可能。一度設定すれば、クライアント管理は不要。
- ・アクセス、アイデンティティ、システム・イベントに関する全ての情報がセントラル・リポジトリに収集され、ユーザやシステムベースの動作を容易に確認可能。

### オールインワン

- ・既存認証システムとの効果的な統合
- ・ユーザ本人によるパスワード管理
- ・ユーザがあらかじめ設定した「位置」と「順番」（＝イメージパスワード）を使って、マトリクス表（アクセスするたびにランダムに表示が変わる乱数表）から、その位置と順番に当てはまる数字を抜き出してワンタイムパスワードとして認識させるマトリクス認証方式を採用。
- ・パスワードは「ワンタイム（使い捨て）」になるため、強固な認証を実現。

### 包括的な認証オプション



### 幅広いアクセスのサポート

- ・XP 32ビットおよび64ビット、Vista、Windows 7対応を含むクライアントおよびクライアントレス・アクセスを実現。
- ・導入のみの簡単設定のほかに、エンドポイント完全性チェック、Javaベースのアプリケーション配信オプション、双方向トンネルなどを活用することにより、より高度なIT環境でも対応可能。
- ・幅広いアプリケーションのサポートを実現。管理者は、ウェブアプリケーションのみの有効化、ネットワークおよび個別のリソースへのトンネルの作成、または、アプリケーションのデスクトップ配信などを選択可能。
- ・システム管理者は、Microsoft Active Directoryなどの既存のサードパーティ認証ソリューションと統合するほかに、内部のLDAPサーバでローカル認証を設定可能。さらに、SMSベースのトークン、ソフトキーボードなどによる内蔵された二要素認証を使ってローカル認証を設定することも可能。
- ・検査ログ中のすべての情報は、グラフィカルなレポートで表示。リアルタイムおよび履歴情報を表示できるほか、ExcelやCrystal Reportsなどのサードパーティ製品に出力し、データマニングや資産管理を実現。

### インフラの保護

- ・包括的なエンドポイント完全性チェックにより、アンチウイルス、アンチスパイウェア、ファイアウォール・ソフトウェア、その他多くのデバイス属性に関するエンドポイント順守チェックを設定実行可能。ネットワーク保護を保証。
- ・ファイルの削除やキャッシュのクリーニングなどでエンドポイントからアクセス形跡を消去し、悪意のあるユーザがネットワークリソースに再進入することを禁止し、データ漏洩を予防。
- ・強力認証を含むローカルおよびサードパーティの認証サポートによって、許可されたユーザのみがネットワークにアクセス可能。不正侵入を防止。



## iPhone/iPad用アプリケーション

iPhone/iPad向けWatchGuard SSL100/560連携モジュールにより、ビジネスにて需要の高まっているiPhone/iPadからのセキュアなリモートアクセスが実現可能です。

